

81

メディア座標原点設定

ESX 50

用紙の原点位置を指定します。

書式

1B 7E 50 LEN CTRL

パラメータ長

LEN (2バイト) : X'0001'固定

パラメータ

CTRL (1バイト) : 原点位置

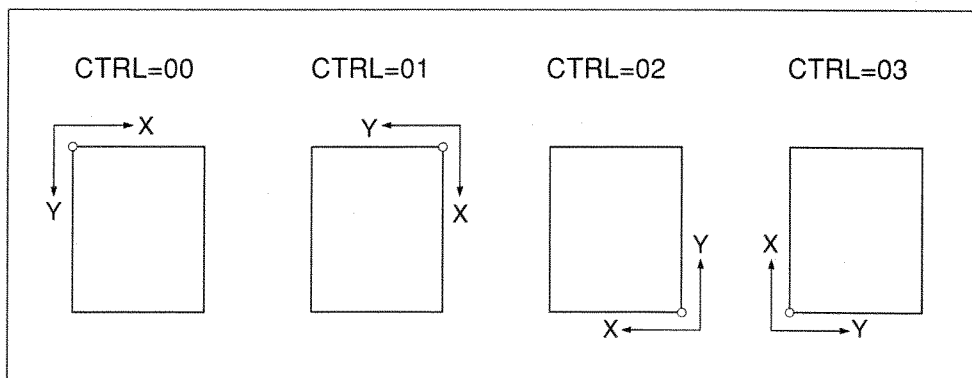
X'00' 左上(省略時値)

X'01' 右上

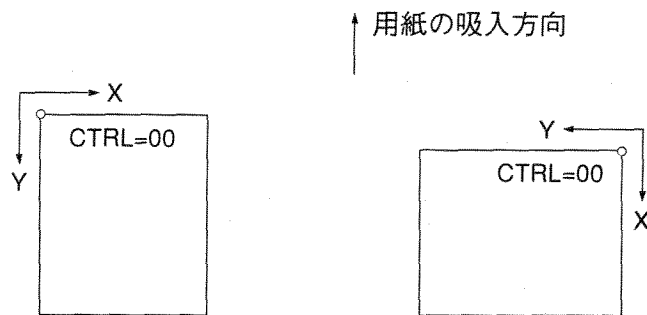
X'02' 右下

X'03' 左下

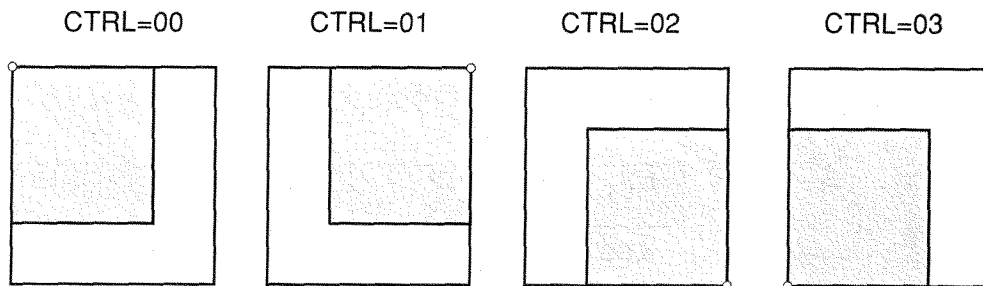
ただし、用紙の短辺が常に"上"を示します。



下図のように用紙の置き方が変われば原点位置も変化しますので注意してください。（不定形用紙は除きます）



メディアサイズ設定コマンド (ESX 2F) と実際の用紙サイズが異なっている場合は以下の位置が原点となります。



□部=実際に設定された用紙サイズ

注意

- 本コマンドは、文字展開方向設定コマンド (ESX30, ESX31) と異なり、原点位置の指定に伴い絶対座標 (X-Y軸)、相対座標 (I-B軸) 両方ともに回転します。
- CTRL=X'03'のとき、操作パネルで用紙方向をヨコに設定した場合と同じになります。
- パラメーターに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 本コマンドの指定は、初期化設定コマンド (ESX01) を受信すると、操作パネルで指定した値に設定されます。
- 論理ページ設定を行う場合は、本コマンドより後に行うようにしてください。
- ページ縮小/拡大率の変更を同時に行う場合は、本コマンドより前にページ様式設定 (ESX 51) を行うようにしてください。

使用例

●コマンド列●

1B 7E 50 0001 00 左上原点

●印刷結果●

略

ページ様式（縮小／拡大モード）を指定します。

書式

1B 7E 51 LEN N

パラメータ長

LEN (2バイト) : X'0001'固定

パラメータ

LEN = 0x0001の場合

n1	5588-H02, 5586-H02	5584-G02/H02	5585-H01	5587-H01
X'00'	100% (原寸)	100% (原寸)	100% (原寸)	100% (原寸)
X'01'	75%	66.7%	75%	
X'02'	5585/5587 と同じ	80%	縦87.5% 横100% (連続用紙→B4) 文字サイズ 100%	
X'03'	5585/5587 と同じ	66.7% (連続用紙→A4)	縦68.7% 横75% (連続用紙→A4) 文字サイズ 75%	
X'04'	66.7%	66.7%	無効	
X'05'	80%(B4→A4)	80%(B4→A4)	無効	
X'06'	66.7% (A3→A4)	66.7% (A3→A4)	無効	
X'07'	120% (A4→B4)	無効	無効	
X'08'	141% (A4→A3)	無効	無効	

LEN = 0x0002の場合 (5588-H02及び5586-H02のみ有効)

n1 = X'80' 固定

n2 = X'32' (50%) から X'96' (150%) までの範囲が有効。縮小・拡大率を1%刻みで指定可能。

注意

- パラメーターに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 本コマンドの指定は、初期化設定コマンド (ESX01) を受信すると、プリンタの操作パネルで設定した値に設定されます。
- 本コマンドはTOFでのみ有効です。TOF以外の位置で本コマンドを受けた場合、次のページから動作します。
- N = X'02', X'03'の場合は、イメージ・データ等は縦方向もそれぞれ100%, 75%になるので基本制御コマンド(イメージを除く)及び文字以外のデータの印刷には適しません。

使用例

● コマンド列 ●

```

1B 7E 51 0001 00                                100%
'ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ'                    0DOA
'01234567890123456789012345'                    0DOA
'あいうえおかきくけこさしす'                  0DOA
'亜意卯得尾課気区毛子差詩酢'                  0DOA
0C
1B 7E 51 0001 01                                75%縮小
'ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ'                    0DOA
'123456789012345678901235'                      0DOA
'あいうえおかきくけこさしす'                  0DOA
'亜意卯得尾課気区毛子差詩酢'                  0DOA
    
```

● 印刷結果 ●

(1ページ目) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 01234567890123456789012345
 あいうえおかきくけこさしす
 亜意卯得尾課気区毛子差詩酢

(2ページ目) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 01234567890123456789012345
 あいうえおかきくけこさしす
 亜意卯得尾課気区毛子差詩酢

ページ記述子設定

論理ページの属性を指定します。

書式

1B 7E 52 LEN UNT_B RES1 X_LUNT Y_LUNT RES2 X_EXT RES3
Y_EXT

パラメータ長

LEN (2バイト) : 最大 X'002B'

パラメータ

UNT_B (1バイト) : サイズの単位 X'00' = 10インチ
X'03' = 1インチ

RES1 (1バイト) : 予約済み。X'00'を指定してください。

X_LUNT (2バイト) : X座標の論理解像度

UNIT_B=X'00'の時 X'3840'(1/1440インチ)

UNIT_B=X'03'の時 X'1C20'(1/7200インチ)

Y_LUNT (2バイト) : Y座標の論理解像度

UNIT_B=X'00'の時 X'3840'(1/1440インチ)

UNIT_B=X'03'の時 X'1C20'(1/7200インチ)

RES2 (1バイト) : 予約済み。X'00'を指定してください。

X_EXT (3バイト) : 論理ページの幅

RES3 (1バイト) : 予約済み。X'00'を指定してください。

Y_EXT (3バイト) : 論理ページの高さ

5587/5585/5589は、1/1440インチを使用してください。

注意

- 幅または高さが0.5インチより小さい論理ページを設定することはできません。
- 本コマンドはページの先頭 (TOF位置) でのみ有効です。
- パラメータに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 本コマンドの指定は、初期化設定コマンド (ESX01) を受信すると、電源投入時の値に設定されます。
- 論理ページの設定は、できるかぎり論理ページ設定 (ESX 38) を使用してください。
- X座標の論理解像度とY座標の論理解像度は同じにしてください。違う場合はコマンド全体が無効になります。

使用例

●コマンド列●

```
1B 7E 52 000E 00 00 3840 3840 00 0021C0 00 002D00 6"x8"
```

●印刷結果●

略

84

論理原点設定

ESX 53

論理ページの原点を用紙端（メディア座標原点の指定ESX50で指定された原点）よりのオフセットで指定します。

書式

```
1B 7E 53 LEN RES1 Xm RES2 Ym RES3
```

パラメータ長

LEN (2バイト): X'000A'固定

パラメータ

RES1 (1バイト): 予約済み。X'00'を指定してください。

Xm (3バイト): X座標オフセット

ページ記述子設定で指定した単位 (X'000000'~X'7FFFFFF')

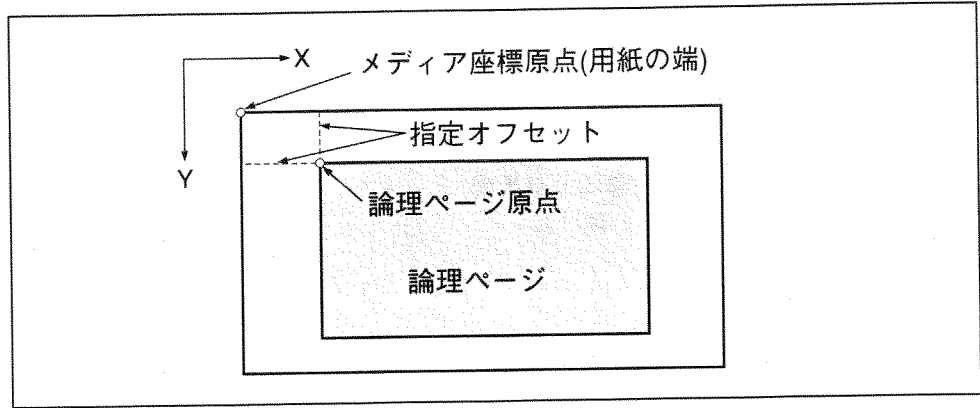
RES2 (1バイト): 予約済み。X'00'を指定してください。

Ym (3バイト): Y座標オフセット

ページ記述子設定で指定した単位 (X'000000'~X'7FFFFFF')

RES3 (2バイト): 予約済み。X'0000'を指定してください。

Xm, Ymが印刷可能最大範囲（機種により異なる）より小さい値が指定された場合、印刷可能な最大範囲となるように調整されます。



注意

- 本コマンドで指定できるX座標, Y座標オフセットの最小値は機種により異なります。(3mm, 4mm, 5mmのいずれか) 指定可能な最小値より小さい値が指定された場合は, 自動的に最小値が設定されます。
- 1/1440インチ単位系では X'000000' から X'7FFFFFFF' までです。
1/7200インチ単位系では X'000000' から X'7FFFFFFF' までです。
- 本コマンドは操作パネルによる上左マージンの設定には影響されません。
- 論理ページ原点指定 (ESX38) と本コマンドで指定された論理ページ原点は, あとから指定されたほうが有効となります。
パラメーターに無効な値が指定された場合は, 本コマンドは無視されます。
本コマンドの指定は, 初期化設定コマンド (ESX01) を受信すると, 電源投入時の値に設定されます。

使用例

●コマンド列●

1B 7E 53 000A 00 0021C0 00 002D0000 00 6" x 8"

●印刷結果●

略

ESX 61

85

ページセグメント

ページセグメントを定義します。

ページセグメントとは文字コードや制御コードの列を登録し、そのIDを指定することにより、以後何度でも使用できるものです。

書式

1B 7E 61 LEN N1 N2

パラメータ長

LEN (2バイト): X'0001' または X'0002'

パラメータ

N1 (1バイト): フラグ

X'00' X'02'の場合と同じです。

X'01' セグメント開始 (Begin Segment)

セグメント終了 (End Segment) までのデータを N2で指定される ID (登録番号) とともにプリンターに登録します。

X'02' セグメント呼び出し (Include Segment)

既に登録されたセグメントを N2で指定される IDとともに現在位置に展開します。

X'03' 即時セグメントの開始 (Begin Immediate Segment)

セグメント終了 (End Segment) までのデータを直ちにプリンターに展開します。(登録はされません。)

X'04' セグメント消去 (Delete Segment)

既に登録されたセグメントを N2で指定し、消去します。

N2 = X'FF'を指定すると登録されているセグメントをすべて消去します。

X'05' セグメント終了 (End Segment)

セグメントとして登録されるデータの終わりを示します。

N2 (1バイト): セグメントID (Segment ID)

範囲は X'00' から X'FE' までです。

X'FF' が許されるのは N1 が X'04' のときのみです。

本コマンドの使用シーケンス例

1. Begin Segment --- 登録されたセグメントの開始
2. Segment Data --- 登録されるセグメントデータ (コマンドデータ列)
3. End Segment --- 登録されたセグメントの終了
4. Include Segment --- 登録されたセグメントを呼び出します。
5. Normal Data 通常印刷データ
- 4'. Include Segment --- 登録されたセグメントを呼び出します。
- 5'. Normal Data 通常印刷データ
6. Delete Segment --- 登録されたセグメントの消去

注意

- セグメントが呼び出される時、現在位置 (CPP) は保存されます。
- セグメントのデータが論理ページを超えた場合、次ページに印刷されます。
この場合、セグメント終了後の現在位置は次ページの該当位置 (セグメントが実行された位置) に設定されます
- セグメントは 255個まで登録できますが記憶できるデータの容量は、セグメントとオーバーレイの合計で管理されます。容量の制限は機種およびメモリ構成によって異なります。
- 以下のコマンドはセグメントの中にも含まれません。

DC1 (X'11')

DC3 (X'13')

取り消し (X'18')

書式送り (X'0C')

単票吸入 (X'1B 53')

単票排出 (X'1B 56')

コピー枚数指定 (ESX 33)

用紙トレイの選択 (ESX 46)

ページセグメント (ESX 61)

オーバーレイ (ESX 62)

初期化設定 (ESX 01)

- パラメーターに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 初期化設定コマンド (ESX01) を受信しても、登録されたページセグメントが消去されることはありません。

使用例

●コマンド列●

```
1B 7E 61 0002 01 01 BEGIN SEGMENT
*** セグメント データ ***          0D0A
1B 7E 61 0002 05 01 END SEGMENT
```

```
'1. CALL SEGMENT ='
1B 7E 61 0002 02 01 INCLUDE SEGMENT
0D0A
'2. CALL SEGMENT ='
1B 7E 61 0002 02 01 INCLUDE SEGMENT
0D0A
'3. CALL SEGMENT ='
1B 7E 61 0002 02 01 INCLUDE SEGMENT
0D0A
1B 7E 61 0002 04 01 DELETE SEGMENT
0C
```

●印刷結果●

```
1. CALL SEGMENT = *** セグメント データ ***
2. CALL SEGMENT = *** セグメント データ ***
3. CALL SEGMENT = *** セグメント データ ***
```

オーバーレイ制御

オーバーレイを定義します。

オーバーレイとは文字コードや制御コマンドの列をプリンターに登録し、その後プリンターが受信したデータとページ単位で合成し、印字する機能です。

書式

1B 7E 62 LEN N1 N2

パラメーター長

LEN (2バイト): X'0001'またはX'0002' または可変

パラメーター

N1 (1バイト): フラグ

X'00' X'02'の場合と同じです。

X'01' オーバーレイ開始 (Begin Load Overlay)

以後のデータをオーバーレイ終了 (End Load Overlay) がくるまで N2で指定されるID (登録番号) とともにプリンターに登録します。

X'02' オーバーレイ呼び出し (Include Overlay)

既に登録されたオーバーレイをN2で指定されるIDで呼び出して使用します。呼び出されたオーバーレイは、TOF(論理ページ原点)より展開されます。

X'03' 即時オーバーレイの開始 (Begin Immediate Overlay)

以後、オーバーレイ終了 (End Overlay) までのデータを直ちにTOF位置より展開します。(登録はされません。)

したがって、この場合、LEN=X'0001'として、N2パラメーターは指定しないでください。

X'04' オーバーレイ消去 (Delete Overlay)

既に登録されたオーバーレイをN2で指定し、消去します。

N2 = X'FF'を指定すると登録されているオーバーレイをすべて消去します。

X'05' オーバーレイ終了 (End Load Overlay)

オーバーレイとして登録されるデータの終わりを示します。

X'10' 連続オーバーレイ制御

既に登録されたオーバーレイを各ページに自動的に展開します。

X'1F' 連続オーバーレイの終了

連続オーバーレイの展開を終了します。

N2 (1バイト): オーバーレイID (Overlay ID)

範囲は X'00' から X'FE' までです。

X'FF' が許されるのは N1 が X'04' のときのみです。

N1がX'10' (連続オーバーレイ制御)の場合、N2を複数指定することができます。

本コマンドの使用シーケンス例

- | | | |
|-----------------------|-----|---------------------------|
| 1. Begin Load Overlay | --- | 登録されたオーバーレイの開始 |
| 2. Overlay Data | --- | 登録されるオーバーレイデータ (コマンドデータ列) |
| 3. End Load Overlay | --- | 登録されたオーバーレイの終了 |
| 4. Include Overlay | --- | 登録されたオーバーレイを呼び出します。 |
| 5. Normal Data | | 通常の印刷データ |
| 4'. Include Overlay | --- | 登録されたオーバーレイを呼び出します。 |
| 5'. Normal Data | | 通常の印刷データ |
| 6. Delete Overlay | --- | 不要なオーバーレイの消去 |

注意

- オーバーレイが呼び出される時、現在位置 (CPP) は保存されます。
- オーバーレイのデータが論理ページを超えた場合、次ページに印刷はされません。
- オーバーレイは 255個まで登録できますが記憶できるデータの容量は、オーバーレイとセグメントの合計で最大 128KBです。
- 以下のコマンドはオーバーレイの中に含まれません。
 - DC1 (X'11')
 - DC3 (X'13')
 - 取り消し (X'18')
 - 書式送り (X'0C')
 - 単票吸入 (X'1B 53')
 - 単票排出 (X'1B 56')
 - コピー枚数指定 (ESX 33)
 - 用紙トレイの選択 (ESX 46)
 - ページセグメント (ESX 61)
 - オーバーレイ (ESX 62) Include Overlayのみ可能です。ただしその場合もネスティングは最大 3 レベルまで
 - 初期化設定 (ESX 01)
- パラメーターに無効な値が指定された場合は、本コマンドは無視されます。
- 初期化設定コマンド (ESX01) を受信しても登録されたオーバーレイが消去されることはありません。
- 連続オーバーレイは、5587/5585/5589では使えません。ただし、5585のエミュレーションプログラムカードIIIおよびIV、5589のエミュレーションカードIIIを実装した場合、使うことができます。機種の詳細は、付録2. 「キャラクターモード使用のフォームオーバーレイの印刷について」を参照してください。

使用例

●コマンド列●

```

1B 7E 62 0002 01 FE          Begin Load Overlay
1B 7E 32 0002 17 07          線種 実線
1B 7E 32 0002 19 03          線幅3
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    外枠
0006 0006 21B4 0864          (1,1)-(1438,358)
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    水平線1
0006 0168 21B4 0168          (1,60)-(1438, 60)
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    水平線2
0594 0006 0594 0864          (238,1)-(238,358)
1B 7E 32 0002 19 01          線種 実線
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    水平線3
0006 02D0 21B4 02D0          (1,120)-(1438,120)
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    水平線4
0006 0438 21B4 0438          (1,180)-(1438,180)
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    水平線5
0006 05A0 21B4 05A0          (1,240)-(1438,240)
1B 7E 32 000C C0 20 00 02    水平線6
0006 0708 21B4 0708          (1,300)-(1438,300)
1B 7E 62 0002 05 FE          End Load Overlay

1B 7E 03 0001 28             4LPI
1B 7E 62 0002 02 FE          Include Overlay 1
'      A      B      C      D      E      'OD0A
'項目1  A1111111 B1111111 C1111111 D1111111 E1111111 'OD0A
'項目2  A2222222 B2222222 C2222222 D2222222 E2222222 'OD0A
'項目3  A3333333 B3333333 C3333333 D3333333 E3333333 'OD0A
'項目4  A4444444 B4444444 C4444444 D4444444 E4444444 'OD0A
'項目5  A4444444 B4444444 C4444444 D4444444 E4444444 'OD0A
1B 7E 62 0002 04 FE          Delete Overlay 1
0C
    
```

●印刷結果●

	A	B	C	D	E
項目 1	A1111111	B1111111	C1111111	D1111111	E1111111
項目 2	A2222222	B2222222	C2222222	D2222222	E2222222
項目 3	A3333333	B3333333	C3333333	D3333333	E3333333
項目 4	A4444444	B4444444	C4444444	D4444444	E4444444
項目 5	A4444444	B4444444	C4444444	D4444444	E4444444

87

制御命令無視モード

ESX 14

書式

1B 7E 14 LEN N

パラメーター長

LEN (2バイト) : X'0001'固定

パラメーター

N (1バイト) :

X'00' 制御命令無視モードの設定

この命令の受信後は、プリンターは「制御命令無視モードの解除 (X'01)」命令を受信するまでの間、以下の規則に従って動作します。

- ・特定の制御命令を除き、バイナリー形式で受信した制御命令はすべて無視し、キャラクターモードで受信したもののみキャラクターモードの仕様にしたがって実行・処理します。
- ・半角文字コード、全角文字コード、ユーザー定義文字コードは正しく印字されます。

X'01' 制御命令無視モードの解除

この命令の受信後は、制御命令無視モードから抜けて、通常モードに戻ります。

注意

- この命令はキャラクターモードを使用して送られてきた場合にのみ有効となります。したがって、バイナリー形式で送られてきた場合は無視されますので注意してください。

制御命令無視モードの設定・解除命令は通常はホストから送る必要があるため、キャラクターモードで送られてくることを前提としています。

この命令はホスト上で生成されるデータの中に、ホスト・プログラムにより自ら挿入された、あるいは3270PC等が、カスタマイズされた最大印字桁数に応じて自動的に挿入される行の終端命令（改行、復帰等）を無視するために使用される目的を持っています。

特に最大印字桁数を超えて印字する場合には、この制御命令を使用して実際の行の終端命令はホスト上からキャラクターモードを用いて送るようにしてください。